

ACP—考えよう人生会議—

(看とる人 看とられる人 自分の心づもりを大切にする人生会議)

皆さん、ご自分の将来でいよいよとなったら、どのような医療・ケアを受けて最期を迎えたいかお考えになったことはありますか。

東京都多職種連携連絡会では、平成 30 年度「ACP(人生会議)」をテーマに、医療・介護・福祉の専門職をはじめとするオール東京チームで、意思決定支援について検討を重ね、このたびシンポジウムを開催することといたしました。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時 : 平成31年3月17日(日) 13:00~16:00 (12:30 受付開始)

会 場 : 東京都医師会館 2階講堂 (裏面地図参照)

対 象 者 : 都民 及び 医療介護福祉関係者、行政職員 等

参 加 費 : 無料

定 員 : 250名 (先着順) *定員に達した場合に限りお申込をお断りする場合がございます。

プログラム

司会 渡辺 象 (東京都医師会 理事)

13:00~13:10 開会・挨拶	(10分)
-------------------	-------

・尾崎 治夫 (東京都医師会 会長) 田中 敦子 (東京都福祉保健局 医療改革推進担当部長)

13:10~13:50 基調講演 「ACP—人生の幕引きを日ごろから話し合う事の意義」	(40分)
---	-------

・講師 秋山 正子 (株式会社ケアーズ 代表取締役/白十字訪問看護ステーション 統括所長)
・座長 平川 博之 (東京都医師会 副会長)

13:50~14:10 寸劇 「最期も安心して☆ ~人生の最期を多職種で看とられる~」	(20分)
---	-------

・劇団たしよく (東京都多職種連携連絡会委員有志)

14:10~14:25 休憩	(15分)
----------------	-------

14:25~15:55 パネルディスカッション

「ACP—考えよう人生会議— (看とる人 看とられる人 自分の心づもりを大切にする人生会議)」	(90分)
---	-------

・座長 森久保 雅道 (東京都医師会 理事)
・パネリスト 発表各10分×4名、討論50分
西田 伸一 (東京都医師会 理事)
椎名 美恵子 (東京都訪問看護ステーション協会 会長)
高岡 里佳 (東京都介護支援専門員研究協議会 副理事長)
牧野 史子 (介護者サポートネットワークセンター・アラジン 理事長)
秋山 正子 (株式会社ケアーズ 代表取締役/白十字訪問看護ステーション 統括所長)

15:55~16:00 挨拶・閉会	(5分)
-------------------	------

・土谷 明男 (東京都医師会 理事)

(申込方法)

裏面の参加申込書 兼 参加票にご記入いただき、
FAXにてお申込みの上、当日ご持参下さい。

FAX: 03-3292-7097 締切: 3月11日(月)

(問合せ・申込先)

公益社団法人 東京都医師会 医療介護福祉課
〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5

電話 : 03-3294-8835

FAX : 03-3292-7097